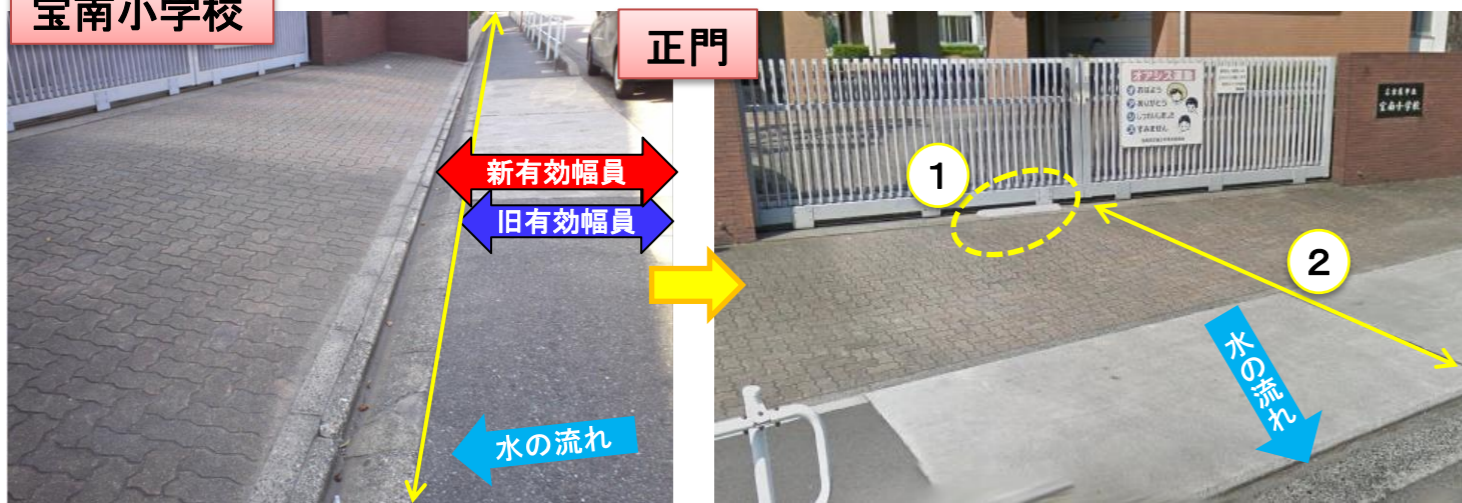


# 福田せいじ ネット通信

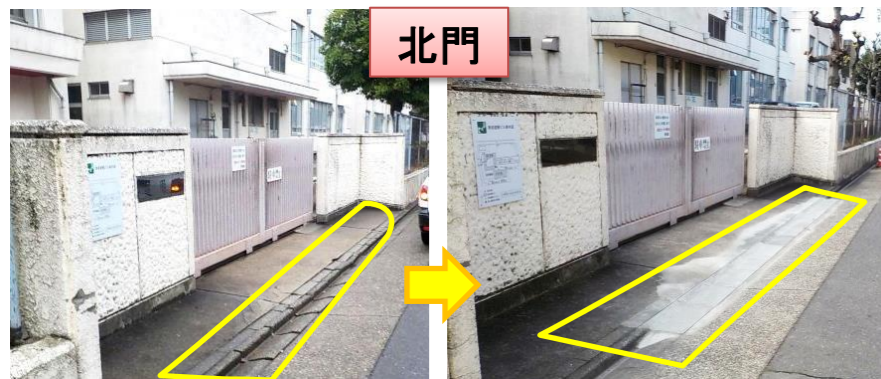


## 宝南小学校



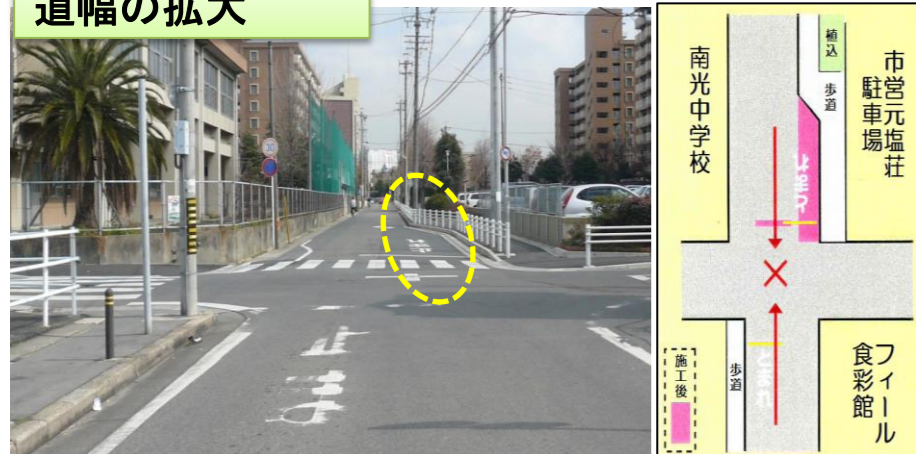
- ①門のレールの間を埋め、自転車やベビーカー、手押し車でも通りやすいようにしました。
- ②小学校東側歩道全面の排水勾配を車道側に変え、L型ブロックを撤去したことによって有効幅員が広がり、また歩道から門まで段差を解消しました。

## 北門



宝南小学校北門出入口のブロックがガタつき危険だったので、段差をなくす修繕をし、車イスやシルバーカー、ベビーカーでも出入りしやすくなりました。

## 道幅の拡大

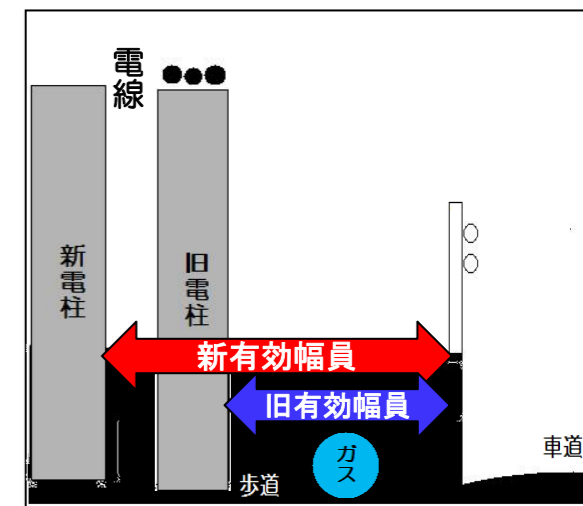
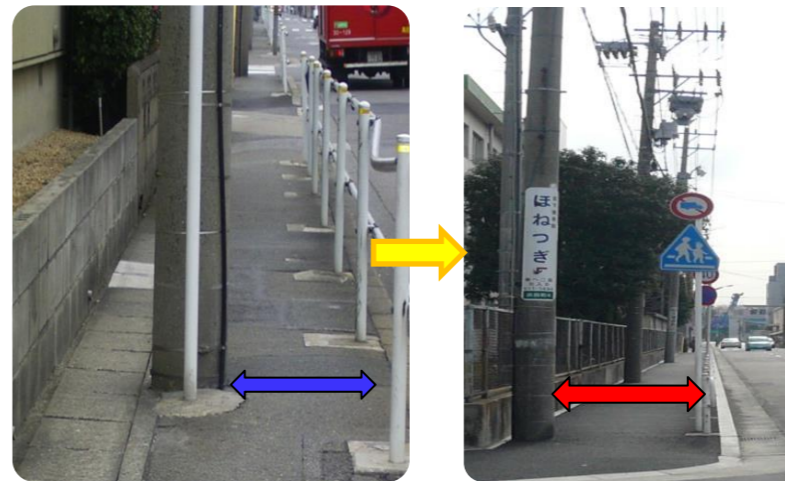


施行前の停止線の位置だと対向車と正面衝突する危険がありました。市営住宅の土地を道路に譲り渡してもらい、左折車線を一車線拡幅できました。

## 右折帯新設



信号付近のJRの柱で非常ににかたついたので、右折帯を設置し対向車線が見やすくなりました。



電柱が歩道の真ん中にあり通行しづらく危険だった為、電柱を移設し有効幅員を広げることで通行しやすくなりました。市内各所でも同様の移設を多数行いました。



交通量の多い交差点で、視覚障害者の方の安全を守るため鳩鳴き信号にしました。



交通量の多い道路横断歩道に信号がなく危険だった為、押ボタン式信号機を設置し安全に渡れるようになりました。



駐車場出入口で頻りに車の出入りがあり、すぐにL型ブロックが破損してしまった為、段差がなく壊れにくいV型ブロックにしました。



名四国道西側にある自転車道は、柵があることで行き来できなかった自転車道と住宅の行き来が可能になり、大変便利になりました。